

2008年～2012年

ファーストソーラー  
ポジティブ・カーボン・インパクト  
温室効果ガス削減への取り組み

環境効率の高い太陽光発電システムを製造することで、ファーストソーラーは製造工程で発生する温室効果ガスの3倍以上相当の量を、太陽光発電システムによる発電で削減しています。2008年以降、ファーストソーラー全社の温室効果ガス排出量は二酸化炭素換算で約140万トンに達しました。これは、当社がこれまで製造した8ギガワット(GW)サイズの太陽電池モジュールによって、二酸化炭素換算で年間450万トン(t)以上を削減しています。その結果、差し引きのポジティブ・カーボン・インパクト(ネット・インパクト)が二酸化炭素換算で年間310万トンに達しました。

ファーストソーラーが製造した8ギガワット(GW)の太陽電池モジュールによる二酸化炭素削減量は、車両台数削減で換算すると1分間に2台の車を道路から撤去するのに匹敵する量であり、23,000リットル(～6,000ガロン)以上の水を節約しています。ファーストソーラーの太陽電池モジュールを使用する太陽光発電所は、その稼働期間において、従来のエネルギー源による大気汚染物質排出削減に貢献しています。

米国環境保護庁によると、米国の発電部門では、二酸化炭素換算で年間約20億トンを排出しています。

\*範囲1(燃料・冷媒)と範囲2(購入電力)の稼働中の排出量(cdproject.netを参照)

米国発電部門

100  
億トン

ファーストソーラー

140万トン\*

二酸化炭素排出量

二酸化炭素削減量

FIRST SOLAR

450万トン

ネット・インパクト:

310

万トン